

▶病院周辺案内・アクセス



【電車でご来院の場合】

- JR南武線【尻手駅】下車 改札を出て左に徒歩10分

【バスをご利用の場合】

- JR川崎駅西口臨港バス川51・53・57系統『汐田総合病院前』下車すぐ
- 京急鶴見駅前市営バス18系統矢向行き「矢向3丁目」下車徒歩5分

【お車でご来院の場合】

- 第2京浜(国道1号)の『尻手交差点』を尻手駅方面へ曲がり5分ほどで『矢向第1陸橋』にさしかかります。陸橋を渡り、信号を左折です。

【送迎バスについて】

- シャトルバスの運行を、汐田総合病院⇄鶴見駅⇄うしおだ診療所間で行なっております。ぜひご利用ください。シャトルバスは、「友の会」が会員さん等の利便を考え運営しています。※全車が、鶴見駅付近に停車します。

▶駐車場の詳細や、送迎バスの時刻表は公式HPをご覧ください。

[https://www.ushioda.or.jp/\\_20/\\_02](https://www.ushioda.or.jp/_20/_02)



地域とともにはぐくむ医療と介護

そこに差別があってはなりません。

私たちは、患者さまと共につくる医療、

信頼と納得の医療、

無差別平等の医療を追求します。



日本医療機能評価機構 認定病院(3rdG:Ver.2.0)2019年10月  
 一般病院2(200~499床)(主たる機能)、リハビリテーション病院(副機能)  
 高度専門機能(リハビリ)  
 卒後臨床評価機構 認定病院

# 汐田総合病院

- ▶一般病棟
- ▶回復期リハビリテーション病棟
- ▶地域包括ケア病棟

(公財)横浜動労福祉協会  
**汐田総合病院**

〒230-0001 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-6-20 E-mail:ushioda@ushioda.or.jp  
 Tel.045-574-1011 HP:<http://www.ushioda.or.jp/> うしおだ 🔍検索

主要診療科目

内科／外科／整形外科／小児科／脳神経外科／神経内科／リハビリテーション科／救急科  
 眼科／精神科／皮膚科／泌尿器科／耳鼻咽喉科／婦人科／麻酔科／歯科／口腔外科



ごあいさつ

# かかりやすく、室料差額のない 地域とともに歩む病院をめざして

## ごあいさつ

汐田総合病院 院長 **宮澤 由美**



汐田総合病院の歴史は1953年に「働く者の医療機関」としてスタートした旧うしおだ診療所まで遡りますが、1960年の病院化、1987年の総合病院化、2001年の新築移転を経て、団塊の世代が後期高齢者になる2025年を迎えようとしています。横浜市鶴見区も京浜工業地帯の街から、高齢者や障害者、外国人など多様な人が多様な価値観をもって暮らす街へと変わってきました。

全国的には人口減が進む中、首都圏の当院を取り巻く環境はまだ緩やかな人口微増が続き、中でも高齢人口の大幅な増加とともに更なる医療需要・介護需要が見込まれる地域です。その中で中核病院をはじめとする近隣の医療機関との機能分化と連携を深め、無料定額診療事業を核として、無差別・平等の地域包括ケアの拠点となるような病院を目指します。さらに、当院の目指すべき方向性として、「高機能ケアミックス病院」から「地域生活支援病院」への転換を図ります。「地域生活支援病院」とは一定の急性期・救急機能を備えながらも、回復期病床が充実した、地域住民の生活を医療を通して支援することに重点をおく病院です。その第一歩が介護棟（仮称）建設と2011年秋オープン予定の新・地域包括ケア病棟です。これで、当院は319床の病床を有する病院になります。

国難ともいえるコロナ禍の日々ではありますが、地域住民の健康を守り、地域住民とともに歩む病院であり続けたいと思っています。



### 1. 病院理念

医療・福祉・介護にわたる総合的なサービス提供を通して、患者さまとの協同、患者さまの信頼と納得、無差別平等を追求します。

### 2. 病院の基本方針

- 1 地域の総合病院として、かかりつけ医療機関としての役割を果たします。
- 2 地域住民、かかりつけ患者さまへの救急医療に24時間対応します。
- 3 保健・予防から急性期、リハビリ、療養期、在宅支援まで、総合的な医療とケアを実践します。
- 4 生活能力の回復までを視野に入れた高齢者医療を充実させます。
- 5 総合病院としての専門性追求と地域連携で地域住民の健康を守ります。

### 3. 患者さまの権利

私たちは、以下のような「患者さまの権利」を大切に考えて医療を実践します。

あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性について、十分な説明を受けた後にその治療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によって家族、代理の方にお話をする場合があります。

あなたは、今受けている医療（治療、処置、検査、看護、食事、その他）について、ご自分の希望を申し出ることができます。

あなたは、その他の医療機関に転院したい場合、または納得した医療を受けるために主治医以外の医者から意見（セカンド・オピニオン）を聞きたい場合には、申し出ることができます。必要な情報を提供いたします。

あなたの医療上の個人情報は保護されます。  
あなたの人格はどのような病状においても大切にされます。  
あなたの診療情報は希望により開示されます。

## 無料・低額診療の ごあんない

「無料・低額診療事業」は、経済的な理由によって、必要な医療サービスを受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で医療の提供を行なう事業です。無料・低額診療事業については、汐田総合病院・患者サポート室にて相談をお受けしています。適用とならない場合でも、医療費のほか、当面の生活などについても相談に応じています。お気軽にご相談ください。

#### 窓 口

病院 2階 患者サポート室（旧総合ケアセンター）

#### 無料・低額診療事業の内容

- ・診療費一部負担金の全額免除
- ・診療費一部負担金の一部免除

横浜勤労者福祉協会のすべての診療所で無料・低額診療事業を実施しています



病棟のご案内



7階病棟  
ナースステーション



安全・安心の治療環境

無差別平等の医療を

地域の皆様に提供いたします

一般病棟

「一般病棟」は、7対1入院基本料DPC制度を導入しております。DPC制度は患者さまの病名や症状をもとに、厚生労働省から定められた1日当たりの診断群分類に基づく医療費を支払う会計方式です。



地域包括ケア病棟①

汐田総合病院は急性期医療・回復期リハの提供に加え、2階・5階の2病棟で計104床の「地域包括ケア病棟」を開設し、地域医療に貢献します。



地域包括ケア病棟②

地域包括ケア病棟では入院期間は60日です。幅広い疾患・レスパイト入院等の在宅療養支援・退院支援・在宅復帰に力を入れています。



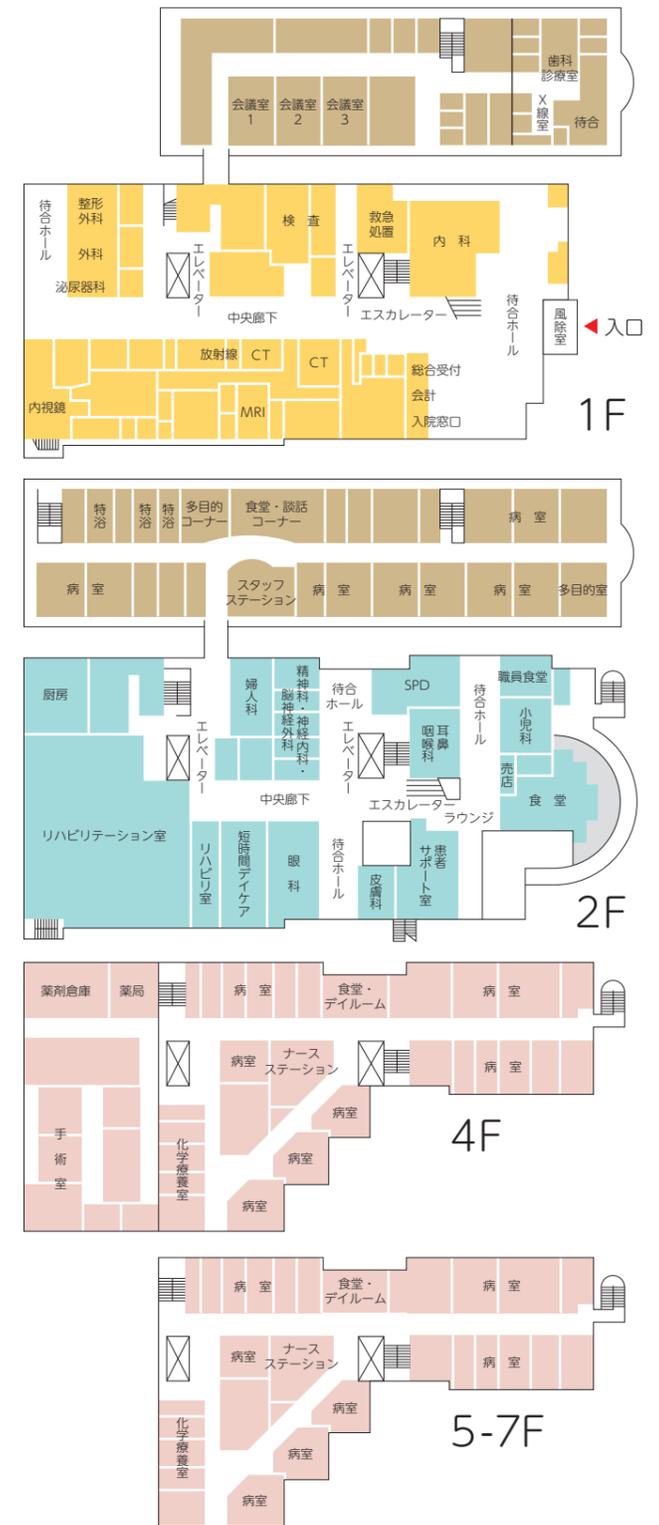
回復期リハビリテーション病棟

「回復期リハビリテーション病棟」は、急性期治療を終えた患者さまが在宅・社会復帰に向けてリハビリをする病棟です。



早期の在宅復帰を目指し医師、看護師、リハスタッフ、ソーシャルワーカーが密な連携をとり、病棟全体を1つのチームとして1人1人の患者さまに関わっています。当病棟から約80%の患者さまが在宅復帰され、その後必要に応じて外来や訪問リハ、短時間デイケアなど通所リハでの支援を行なっています。

入院中は365日、毎日3時間のリハビリを目標に行なっています(病状により介入時間が異なります)。リハビリテーション科専門医の診察や回診をもとにチームで計画を作成し、退院まで集中的なリハビリを提供します。



	8F	管理棟 医 局		
	7F	入院病棟		
	6F	入院病棟		
	5F	入院病棟		
化学療法室 手術室・薬局	4F	入院病棟		
うしおだ 老健やすらぎ	3F		屋上庭園	
リハビリ・栄養科 患者サポート室	2F	エスカ レーター	各科外来	食堂 売店
検査科・放射線科 各科外来	1F		メイン エントランス	入院病棟 歯科・会議室



各部門の  
ご案内



## 質の高い医療技術・患者サービスを 各部門の専門スタッフが チームを組んで提供いたします



### 看護

「私たちはいのちを大切に、常に患者さまから学び、専門性を高め、継続性のある看護を目指します」の看護部理念のもと、日々の看護部活動を行っています。患者さまが地域で安心して在宅療養を送っていただけるように病院内外のチームワークを図り活動しています。



### 検査

検体検査、生理検査、超音波、脳波、病理、耳鼻科検査など中規模病院にふさわしいさまざまな各種検査に対応が可能です。生化学分析装置、PCR検査の導入により、院内で迅速に検査結果を出すことで、質の高い患者サービスの提供に貢献しています。



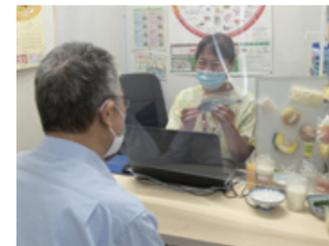
### 化学療法室

リラックスした状態で化学療法を受けていただくための施設です。当院の4階にあります。通院で可能な化学療法を実施しています。常にスタッフがフォローしておりますので安心して治療を受けることができます。



### 栄養

セントラルキッチンより、HACCPの衛生基準に基づき、調理された食事を再加熱カートを使用して、適温の状態を提供しています。入院患者さまには、個々の状況に合わせて栄養管理を行なっています。また、管理栄養士は、NST(栄養サポートチーム)の事務局として、他のスタッフと協力して栄養サポートを行なっています。栄養相談では、入院、外来患者さまを対象に医師の指示に基づき、個別の栄養相談を行なっています。



### リハビリテーション

理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3部門と介護保険での訪問リハと短時間デイケアで成り立っています。

病院内の対象疾患は脳卒中などの中枢神経疾患が多く、整形疾患・内部疾患等にも対応しております。急性期から回復期、維持期、在宅までの支援を行っており、all roundに対応できるセラピスト育成を目指しています。新入職員育成や職場内学習を活発に行ない、学術活動も積極的にとりくんでいます。



### 手術

当院の2019年の全身麻酔手術件数は534件です。

日帰りの白内障手術、外科の腹腔鏡下手術、脳外科の血管内手術等多様な術式に対応が可能です。



### 放射線

24時間365日放射線技師が常駐し保健予防の健診から、緊急対応まで安全、安心の検査が可能です。高性能のCT・MRI、一般撮影、血管造影検査、消化器X線TV検査等も実施可能です。また、「PACS」の導入により法人内事業所間での画像診断が格段に効率化されました。



### 内視鏡

当院内視鏡は2列での実施が可能です。一般的な胃カメラ、大腸カメラの検査はもとより、内視鏡を使った胆のうの検査や胆石治療、胃ろうの増設なども実施が可能です。

2019年度は胃・十二指腸ファイバー1561件、大腸カメラ729件、胃ろう造設44件を実施しました。また、内視鏡下のポリプや腫瘍の摘出など難度の高い処置も実施が可能です。



### 薬剤部

ジェネラリストとして、薬剤の専門家としてチーム医療にかかわっています。

各病棟の担当薬剤師を中心に、医薬品を安全に使用するための業務を行なっています。

入院中に治療継続の動機付けや外来ではなかなか聞けない薬のことを患者さまへわかりやすくお伝えする工夫をしています。今後は、入院してから安心して在宅へ戻れるための薬剤師のかかわりを追及していきます。

その他、通常業務としては以下のことを行なっています。  
▶ 処方監査・調剤業務 ▶ 外来化学療法などの注射剤の混注業務 ▶ 薬剤管理指導業務 ▶ ラウンド・カンファレンスや、各種委員会への参加 ▶ 薬剤情報の収集・伝達



### 患者サポート室

【ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・地域連携】

病院の患者サポート室は従来の医療相談室・地域連携室・居宅介護支援事業所を一体化し、法人及び地域における連携と個別の援助を展開しています。

突然の病気やけがで入院されると様々な問題が生じてきます。私たちは患者さまやご家族の立場にたって、問題解決のお手伝いをするとともに、それぞれの生活に即した切れ目のない援助とサービスを提供できるように対応しています。これまで多くの地域関係機関の皆さまに支えられてきましたが、今後も地域で支えられるケアを密な信頼関係をもとに実践していきたいと考えています。





## 各科のスペシャリストが 生活と労働から疾病をとらえ、 患者さまの立場にたった親切でよい 医療を提供いたします

### 内科



内科と総合診療科のグループに分かれて診療しています。内科グループは外科と連携し、消化器チームとして早期がんの対応や進行がんの対応、上部下部内視鏡検査や内視鏡による手術などの処置にとりこんでいます。

総合内科グループでは救急、プライマリケアや高齢者医療などのニーズに応えています。また、チーム制による教育システムで地域医療を担う総合医の育成に力を入れています。

### 整形外科

外来は、腰痛、腱鞘炎、入院では高齢者の骨粗しょう症による骨折が多いのが特徴です。地域医療へ貢献するため、可能な限り患者さまを受け入れられるよう務めています。入院は、急性期からリハビリまでのサービスを一貫して提供しています。

手術は年間160件(2013年度)。大腿骨(太もも)をつなぎとめたり、人工骨に取り替える手術などを多く行なっています。

### 外科

当科は、患者さま目線に立った「安全・安心・確実な医療の実践」を目標とし、鼠径ヘルニアなどの一般外科領域から胃癌や大腸癌などの消化器悪性疾患、その他消化器疾患を中心とした多様な疾患に対応しています。地域医療を重視しつつ、東邦大学の関連病院として大学医局と連携を生かした消化器疾患に対する先進・専門的治療、手術の実践を行なっています。手術は日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医、内視鏡外科学会技術認定医の指導の下にとりこなされています。外科医療は体にメスを入れる特殊な医療です。より良い結果を得るために、外科医の日々の努力の積み重ねに加え多職種との連携協力を生かしたチーム医療の実践を通じ、安全な医療を提供するように日々努めています。

### 脳神経外科

脳血管障害を中心とし、三次救急からリハビリテーション、慢性管理まで一貫して診療しています。脳ドックでは、詳細な脳血管の画像解析を行なっています。全医師が脳神経外科専門医で、3名が脳卒中専門医、1名が脳血管内治療専門医、1名が脊髄外科専門医です。

年間手術症例数は平均84症例で、脳卒中関連、脊椎脊髄疾患関連、外傷関連の対応が可能です。緊急CT・MRI・DSAが可能で、神経内科と共同で、24時間365日、脳卒中ホットラインを用いて横浜市脳卒中救急に貢献しています。

### 神経内科

地域医療を重視し、t-PA治療など脳血管障害の急性期から回復期リハビリテーション、在宅医療まで継続した医療を行ないます。外来では予約制で認知症外来を開設しています。

疾患としては脳血管障害、脳炎、髄膜炎、認知症などや平山病、多発性硬化症、ALS、重症筋無力症などの神経難病への対応が強みです。

### リハビリテーション科

回復期リハビリテーション病棟、短時間デイケア、訪問リハビリテーション等での診療を行なっています。CI療法、HANDS療法、装具療法等の新しい治療法にもとりこんでいます。

### 眼科

外来では前眼部病変、白内障、緑内障、糖尿病網膜症などに対応し、プライマリケアに力を注いでいます。手術は、大学病院のバックアップをうけ、白内障、外眼部病変を中心に行なっています。

### 精神科

予約制の外来診療と身体的な疾病で入院された患者さまの精神的合併症に対する診療を行ないます。身体的主治医と協同し、入院患者さまの診察と治療をしています。

### 小児科

総合診療、各種予防接種、検診、専門外来(アレルギー相談など)は予約なしで通常の診療日に行ないます。

健康診断、BCGワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンは予約が必要です。

### 皮膚科

一般診療を行なっています。外来、手術、検査にも対応しています。また、パッチテストなどで、薬疹接触皮膚炎の原因を調べています。

### 泌尿器科

大学病院、関連の専門医により腎臓、膀胱、尿管、前立腺など、泌尿器全般にわたる治療を行ないます。精密検査や手術が必要な場合、近隣の専門医療機関との連携を行なっています。

### 耳鼻咽喉科

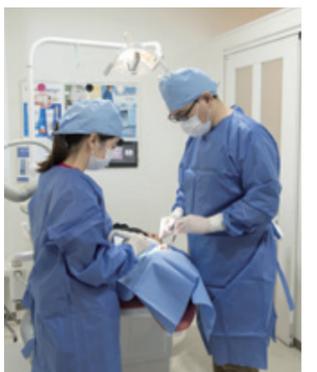
一般診療のほか、めまい、難聴、耳鳴りに対しての各種聴覚検査、重心動揺計や電気眼振計による平衡機能検査を行ない、診断や相談を行なっております。なお、毎週水曜日は副鼻腔疾患専門の医師が担当しています。

### 婦人科

婦人科疾患一般をとりあつかいアット・ホームな雰囲気での診療を心がけています。予約制で子宮がん検診を実施しています。

### 歯科・口腔外科

一般歯科診療に加え、口腔外科診療を開始し口腔外科小手術、口腔インプラントなどに対応しています。また全身疾患を有している方々の治療について関連各科と連携を密にした治療を行なっております。さらに歯科衛生士が中心となり口腔衛生指導や口腔ケアにも力を入れています。





外来の  
ご案内



# 誰もが安心して 住みつけられる地域をめざして 予防から救急・在宅支援にとりくみます

外来  
全般

## 当院の外来の特徴

糖尿病、高血圧をはじめとする生活習慣病、手術後の継続診療、リハビリテーション、痛みや不安などを全人的な視点により患者さまを支えます。

## 救急医療

救急科を標榜しています、横浜市二次救急拠点病院Bとして、年間約2,400台の救急車を受け入れています。地域での医療の充実を図ることを目的として、日中はもちろんの事、休日や夜間帯も含め365日、救急患者の受け入れを行っています。

今後もケアミックス型病院としての機能を最大限に活用し、地域に密着した病院としての役割を担っていきます。

## 健診・ドック

当院では地域の皆さまの健康を守り、健やかな日常生活を送られるよう、特定健診や各種がん検診、脳ドックなどの健康診断を実施しています。普段は気がつかない体の異常はないか、病気の早期発見・早期治療につながる健康診断は近年ますます重要となってきています。

ぜひ定期的に健康診断をご家族そろって受けていただき、日ごろの健康づくりにお役立てください。また、友の会にご入会いただくと、健康診断時にさまざまな特典が受けられます。



## 施設概要

### ▶ 汐田総合病院の概要

院長 宮澤 由美  
所在地 神奈川県横浜市鶴見区矢向1丁目6番20号  
延床面積 SRC造8階建 11,972.19㎡(3,627坪)  
一部RC造2階建 1,216.99㎡(368坪)  
病院延床面積 11,372.99㎡(3,446坪)  
老健延床面積 1,816㎡(550坪)  
病床数 266床(一般7対1(DPC)104床、回復期リハ58床、地域包括ケア病床104床)  
駐車場 58台(内障害者用2台)

### ▶ 職員構成

●病院 ●医師39名/薬剤師13名/看護師・助産師(助手含)200名/作業療法士22名/理学療法士45名/言語聴覚士13名/検査技師13名/放射線技師12名/臨床工学士2名/管理栄養士6名/調理師3名/ソーシャルワーカー7名/視能訓練士1名

### ▶ 診療科目

内科/神経内科/小児科/精神科/外科/整形外科/脳神経外科/救急科/婦人科/皮膚科/耳鼻咽喉科/眼科/歯科/泌尿器科/リハビリテーション科/麻酔科/口腔外科

### ▶ 病院認定

基幹型臨床研修指定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院/日本脳神経外科学会専門医認定制度による指定訓練場所、日本脳卒中学会研修教育病院認定施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本認知症学会専門医教育施設、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会専門医制度関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、看護及び介護臨床実習施設

【2020年2月1日現在】

## 施設基準

### (1) 基本診療料の施設基準

- 歯科外来診療環境体制加算
- 急性期一般病棟入院基本料(7対1)
- 地域包括ケア病棟
- 入院基本料1
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算
- 医師事務作業補助体制加算
- 急性期看護補助体制加算
- 特殊疾患入院施設管理加算
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 療養病棟療養環境加算1
- 医療安全対策加算
- 感染防止対策加算
- 患者サポート体制充実加算
- 退院支援加算
- 認知症ケア加算
- 総合評価加算
- データ提出加算
- 回復期リハビリテーション病棟入院料1(充実加算・体制強化加算)

### (2) 特掲診療料の施設基準

- がん性疼痛緩和指導管理料
- 小児科外来診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料
- ニコチン依存症管理料
- 地域連携診療計画退院時管理料金(大腿骨頸部骨折、脳卒中)
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料1
- 検体検査管理加算(I)
- 検体検査管理加算(II)
- 神経学的検査
- CT撮影及びMRI撮影
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算2
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
- 運動器リハビリテーション料(I)
- 呼吸器リハビリテーション料(I)
- 集団コミュニケーション療法料
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
- 輸血管理料II
- 麻酔管理料(I)
- クラウン・ブリッジ管理料

### (3) 入院時食事療養の施設基準

- 入院時食事療養(I)
- 特別食事加算
- 食堂加算

## 市内に広がる診療所・施設のネットワーク

### ■ 横浜勤労者福祉協会の診療所のご案内

うしおだ診療所	横浜市鶴見区本町通1-16-1	TEL.045-521-5147
梶山診療所	横浜市鶴見区上末吉5-22-16	TEL.045-582-0123
みどり野診療所	横浜市緑区十日市場町915-14	TEL.045-981-7222
清水ヶ丘セツルメント診療所	横浜市保土ヶ谷区岩井町222-1	TEL.045-712-3521
うしおだ在宅クリニック	横浜市鶴見区矢向1-5-26	TEL.045-570-5112

### ■ 協力施設のご案内

うしおだ老健やすらぎ	横浜市鶴見区矢向1-6-20(病院併設)	TEL.045-574-3312
うしおだ介護支援センター	横浜市鶴見区下野谷町4-163-1	TEL.045-504-6879
うしおだ訪問看護ステーション	横浜市鶴見区矢向1-5-26	TEL.045-582-0124
ヘルパーステーションうしおだ	横浜市鶴見区下野谷町4-163-1	TEL.045-505-9574
ヘルパーステーションみどり野	横浜市緑区十日市場町915-14	TEL.045-989-2325
うしおだケアサービス	横浜市鶴見区矢向1-5-26	TEL.045-747-6017
グループホーム菜の花の家	横浜市鶴見区下野谷町3-120-2	TEL.045-502-0999
グループホームひまわりの家	横浜市鶴見区下野谷町4-163-1	TEL.045-479-9875
小規模多機能こすもす	横浜市鶴見区下野谷町4-163-1	TEL.045-504-4130
グループホームハイムさざんか	横浜市鶴見区下末吉1-11-20	TEL.045-717-8815
グループホームハイムつばき	横浜市鶴見区東寺尾1-29-4	TEL.045-580-5023
グループホームハイムさつき	横浜市鶴見区生麦5-17-7	TEL.045-710-0414

## よこはま健康友の会

病院と共に安心して住みつけられる街づくりをめざして

健康に生きたい、仲間と共に安心して暮らしたい。友の会は、病院と共に安心して住みつけられる街づくりをすすめています。医療や介護に関する学習懇談会、楽しく生き生きとサークル活動で仲間を作るなど、これから超高齢化社会に向けても地域の支えあいや助けあいを進めていきます。ゆりかごから墓場まで、幅広い相談活動にも力を入れています。



▶ お問い合わせ(新鶴見支部)  
TEL.045-574-2251